



編集 SEF事務局
 連絡先 03-3358-4434
 URL: <http://sef-jpn.org>

巻頭のことば 「Management of Technology」 柏木 寛 理事長

最近、表題について思いをめぐらせています。対象を分析し統合化を図る過程で日本ではインテグレーションをアセンブリーと理解して使っているように思えてなりません。本来インテグレーションは単に寄せ集めて組立てるだけのアセンブリーではなく、統合した上で完全体にするという深い意味があります。本来なら日本人は構成要素間を調整する能力に優れ、調整の結果、全体を統合することが得意な筈ですが、この考えは日本の財界の主流になっていなく、インテグレーションが重視される産業が発達していません。

SEFの会員の活躍する場では擦り合わせにより創造力を発揮して全体の価値を高めてゆく事を是非心掛けて頂きたいと思います。

4月度 理事会より

<p>1、H18年度収支報告 3月31日現在の期末での収支状況が詳細に説明されました。前年を上回る収入がありました。</p> <p>2、H19年度事業計画及び予算案 各事業部門毎の事業計画及び予算案が纏めて上程され一部修正を加え来月度に最終案を纏めることとしました。</p>	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 事業成行報告 2件 2 SEFサロン会計報告 3 都民税免除申請 4 登録会員1名入会
---	--

事業報告 環境関連設備技術支援 担当 新家副理事長

シニアエキスパートによる業務受託事業の一つの柱として環境関連設備の技術支援事業に取り組んでいます。数年前に民間の環境関連プラントメーカー向けのコンサルティング業務を数件受託し当時客先からも高い評価を得た実績があります。もう一方の目標である地方自治体向け技術支援事業業務の受託には部会員の懸命の受注活動にも拘らず苦戦を強いられています。これについては自治体の随意契約の廃止に伴い中小自治体の工事発注業務に対する技術支援需要が高まることが予想されSEFの受注環境が好転すると考えられます。今期は是非とも受注実績を残すべく部会員一同頑張っています。会員の皆様の更なるご支援とご協力をお願い致します。

SEF サロン

<p>第37回 4月25日開催(於 品川区立中小企業センター) テーマ 「食品リサイクルについて」 講師 伊澤 敏彦 会員 (元 農水省総合研究所「環境資源開発研究所」理事・所長)</p> <p>現在の日本の食糧事情は自給率が低いのに拘らず日本全体では一人一日3食で足りる処に4食分が供給され過剰分が無駄に捨てられたり環境を汚染したり「もったいない」状況にあるそうです。この現状を打破すべくH12年に「食品リサイクル法」が制定され食品関連事業者は食品廃棄物の20%以上を再利用しなければならないとされました。今後は食品供給の源である農業、漁業、林業や社会全体を巻き込んでのリサイクル事業の織込みが必須となり無駄の排除、再利用を図ることにより食品業界の在るべき姿を目指すことになってきます。身近な問題として皆様も大いに関心を持って頂ければと思います。</p>	<p>次回第38回サロン予定 開催日時 5月23日(水) 18時30分より 場所(予定)有楽町 La Stella テーマ 「何を残すか」 講師 米澤 成二氏 (元日立製作所) 企業に多大の利益をもたらした特許の評価について最高裁まで争ったご本人からその思いを聞かせて頂きます。ご期待下さい。</p>
--	---

会員動向 4月度

<p>入会 上條亀八郎(かみじょう きはちろう)氏 登録会員として入会 元三菱化学、計装技術者としてプラントエンジニアリング部門で活躍されてきました。</p>	<p>正会員 24名 準会員 1名 登録会員 11名 賛助会員 2社</p>
--	---